



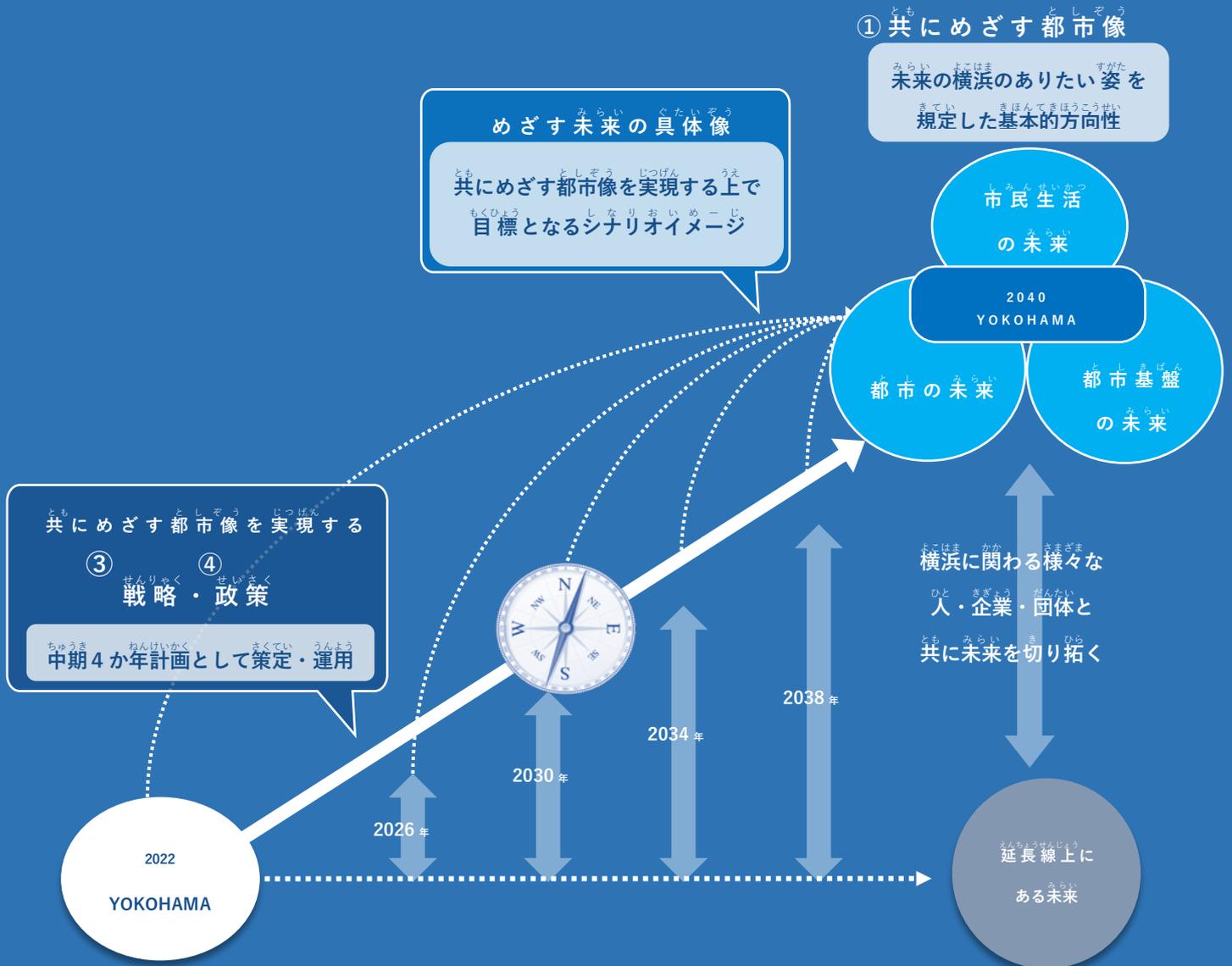
あたら ちゅうきけいかく きほんてきほうこう
新しい中期計画の基本的方向
 ～横浜市をもっとよくするために、あなたの意見を教えてください～

よこはましは、**新しい中期計画**（横浜市をよくするための「4年計画」2022～2026）を2022（令和4）年度に決めます。

新しい中期計画を作るために、「**新しい中期計画の基本的方向**」（2040年ごろ横浜市がこうな
 ってほしいということ）や、そのために横浜市がすること）を**発表**しました。（まとめました。）

基本的方向には、市の2032年ごろまでの**目標**と、2022年4月～2026年3月に進める計画を**書**きました。

横浜市をもっとよくするために、**皆さんの意見を教えてください**。





あす とも に め ざ す と し ぞう 都市像
 明日をひらく都市

OPEN × PIONEER
 2040 YOKOHAMA

社会の変化が早く、先を見通しにくい時代になっている今こそ、
 都市や暮らしの在り方をもう一度、皆さんと共有し直す必要があります。

私たちのまち横浜は、150年以上前から先人たちが未来を切り拓いてきた、挑戦の地です。

ありがたい姿を追求し、皆さんと共に力をあわせて、創ってきた今の横浜。

これから、私たちが、この困難な時代を乗り越えて、子どもたちに、未来に
 つないでいかなければなりません。

横浜は、全ての人の「明日をひらく都市」であり続けたい。

様々な困難を抱えていても、その人が望む道を選択し、みんなで応援する都市。

多種多様な人の才能、その人らしい可能性をひらく都市。

たくさんの人が集い、明日を感じ、語りあえる都市。

多くの様々な企業が集まり、つながり、新しい価値を生み出しつづける都市。

自然や文化をはじめとした、豊かなまちの魅力をひらく都市。

横浜が持続可能であることはもちろん、地球における持続可能性をひらく都市。

横浜に関わる、全ての人が前を向き、希望にみちあふれた毎日を送れる、

世界のどこにもない都市を共につくりましょう。

明日に向けた一人ひとりの行動が、新しい横浜をつくっていきます。



② どのような未来を目指すか

市民生活の未来—みんなが幸せで元気に暮らすことができるまち—

- 01 みんなが自分らしく生きる
- 02 みんなが健康で安心して暮らす
- 03 安心して子どもを育てる
- 04 いろいろな年の人が、元気でかつやくする
- 05 仕事と暮らしのどちらも楽しむ
- 06 脱炭素（二酸化炭素をあまり出さない）で、地球を大切にす
- 07 みんなで自然を大切にす

都市の未来—たくさんの人や会社が集まって、新しい考えがうまれるまち—

- 01 たくさんの人や会社が集まって、新しい考えがうまれるまち
- 02 子どもを育てている人が住みやすいまち
- 03 世界から選ばれるまち
- 04 観光と仕事のどちらも人がたくさん集まるまち
- 05 会社にデジタルが広まって、みんなが使っている
- 06 脱炭素（二酸化炭素をあまり出さない）で、世界で活やくする会社がある
- 07 いろいろな研究をしている人が集まる

都市基盤（交通、災害対策など）の未来—みんなの暮らしをささえるまち—

- 市民の暮らしと経済活動をささえる交通が便利なまち
- 01 交通が便利で、みんなが暮らしやすいまち
 - 02 バスや電車などがあって、移動が便利なまち
 - 03 世界と日本をつなぐ港があるまち
- 自然を守る
- 04 生き物とその環境を守る
 - 05 農業（野菜を育てたりする）でみんなの暮らしをささえる
 - 06 日本や世界のモデルになるグリーンシティ（自然を守るまち）
- 安全で・安心な暮らし
- 07 災害（地震、台風、大雨など）に強いまち
 - 08 災害（地震、台風、大雨など）のとき被害が少なくて じょうぶなまち

③ 2030年ごろまでに横浜市がしたいこと

「共にめざす都市像」をつくるために、2030年ごろまでに横浜市がしたいと考えていること

- 1 子どもの未来をつくる
- 2 年をとっても元気で、ずっとかつやくできるまちをつくる
- 3 Zero Carbon Yokohama (二酸化炭素をあまり出さないようにする)
- 4 経済がよくなって、横浜が国際都市になる
- 5 郊外(市の中心から少しはなれたところ)をもっとよいまちにする
- 6 市の中心部と、臨海部(工場が多いところ)をもっと元気なまちにする
- 7 ガーデンシティ横浜(自然がたくさんある)
- 8 災害(地震、台風、大雨など)に強くて、安全なまちにする
- 9 みんなの暮らしと経済活動をささえるまちにする

④ 2022年4月～2026年3月の4年に横浜市がすること(38の計画)

「共にめざす都市像」をつくるために、2022年4月～2026年3月の4年に横浜市がすること

1. 子どもを育てている人や、妊娠した(おなかの中に赤ちゃんができた)人、赤ちゃんを産んですぐの人を助けます
2. 産まれてから小学校に入るまでの子どもと、子育てを助けます
3. 子どもや若い人を社会全体で育てます
4. 児童虐待やD V(夫や妻、恋人からの暴力)が起きないようにします。被害にあった人を助けます
5. 子どもがよい教育を受けることができますようにします
6. みんながよいと思う学校を作ります
7. みんなが健康で(元気で)で安心して暮らすことができますようにします
8. みんながスポーツをしたり見たりして、楽しむことができますようにします
9. 近くに住む人たちと交流して、みんなが安心して生活できるようにします
10. 年をとっても、家で安心して元気に生活できるように助けます
11. 多文化共生(いろいろな文化の人がいっしょに暮らす)を進めます
12. ジェンダー平等を広めて、いろいろな性があることを知らせます
13. 障害のある人が安心して生活できるように助けます
14. 生活にこまっている人の暮らしをささえます(助けます)
15. お年寄りが安心して生活できるように助けます
16. 自分の家で、医療や介護などのサービスを受けることができますようにします
17. 必要なときに安心して医療を受けることができますようにします
18. 脱炭素社会(二酸化炭素をあまり出さない社会)を進めます
19. いらなくなったものをもう一度使ったり、ごみが増えないようにします
20. 中小の会社を経営する人や、そこで働く人などを助けます
21. 横浜にある会社がたくさんの仕事をできるように手伝います
22. たくさんの人が旅行や会議などで横浜に来る、国際観光都市にします

23. 大学と協力してまちづくりを進めます
24. 国際ビジネスを進めて、市内の経済を元気にします
25. 世界の人たちが集まる、国際都市横浜を作ります
26. みんなが行きたいと思う郊外(市の中心から少しはなれたところ)のまちをつくりま
27. いろいろな暮らしにあう家やまわりの環境をつくりま
28. 交通が便利なまちにします
29. 横浜駅などがある「都心臨海部」、工場が多い「京浜臨海部」などをもっと元気なまちに
します
30. 横浜市の芸術をたくさんの人に知ってもらうため、ダンスや音楽などのイベントを開きま
す
31. 自然が多いまちにします
32. 野菜を育てたりするなど、市内で農業をすすめます
33. 大きな地震でも倒れにくい建物にしたり、火事がおきないようなまちをつくりま
34. 大雨や台風などが起きても、被害(川の水があふれるなど)ができるだけ少なくなるよう
にまちをつくりま
35. 災害(地震、台風、大雨など)のときのために、地域で防災訓練などをしま
36. 生活と経済のために、新しい道などをつくって交通を便利にしま
37. 貿易や旅行の船がもっとたくさんくる港をつくりま
38. 市の建物を安全に使うために、古くなって危なくないかチェックしたり、計画的に新しく
したりしま

新しい中期計画を決めるまで

2022年5月
「新しい中期計画の基本的方向」
を公表



意見の募集



2022年9月ごろ 素案の決定



パブリックコメントの実施など



2022年12月ごろ 原案の決定

意見募集について

○2022(令和4)年7月15日(金)まで
郵送、FAX、電子メールまたは電子申請システムで
意見を教えてください。

様式はありません。「新たな中期計画の基本的方向」の
ど部分かわかるように教えてください。

郵送：〒231-0005 中区本町6-50-10 政策局政策課
FAX：045-663-4613

電子メール：ss-chuki2022@city.yokohama.jp
電子申請システム：市のウェブサイトを見てください。

※個別の回答はしません。
※あなたの意見は、参考に市のウェブサイトなどで発表すること
があります。

○「新しい中期計画の基本的方向」について
詳しい内容は、横浜市ウェブサイトを見てください。
市民情報センター(横浜市役所3階)、各区役所(広報相談係)で見るともできます。

